

A
5

茨城県美容業生活衛生同業組合

住 所	〒310-0817 茨城県水戸市柳町1-13-21		
U R L	http://www.ibarakiken.or.jp/biyoukai		
設 立	昭和32年12月	主 な 業 種	美容業
組 合 員 数	906人	出 資 金	4,747千円

■背景・目的

美容業はオーバーサロン(過当競争)と少子高齢化による顧客数減少が大きな懸案となっている。そのため、組合員であることを示すポスターや組合員証の掲示により、各種講習を通じた卓越した技術力と高度な公衆衛生知識をもつ組合員であることを見える化し、店舗イメージを向上させることで、顧客からの信頼感醸成、売上拡大を目的とした。

■取組みの手法と内容

キーマンである理事長は「考え、そして行動する理事会」をモットーに、SNSを活用した役員及び各部会とのスピーディーな情報共有を徹底し、組合の意思統一を図っている。また、組合組織を再編し、機動力の向上と各地域の活動レベルの底上げ等を図ってきている。

今回の事業は、組合役員・事務局が参加した茨城県生活衛生営業指導センター主催の消費者懇談会において組合員と非組合員の違いを知る方法はないか、との意見に着想を得た理事長の発案で開始された。理事長から指示を受けた組合の各部会がスムーズに企画を進め、クシやハサミがデザインされた組合員証を作成した。課題であった資金調達は中央会の事業を活用することで解決している。デザイン案の決定については、組合員より多数のデザイン提案があり、一つに絞る方法を決めかねていたため、「多くの組合員の意見を聞いて決める」という理事長の方針により、新年イベントに於いて組合員が多数参加するもてで決定した。

周知においては、組合員の店舗に組合員証やポスターを掲示することで、一目で当組合の組合員であることが分かるようになった。組合員の店舗を利用する顧客からは、ポスター・組合員証に対し好意的な意見を数々頂戴するなど、組合の認知度も向上している。また、非組合員に対する働きかけも相まって、徐々に組合員数も増加傾向が見込まれている。

■成果とその要因

今後は、高齢化の進展に伴い訪問美容の需要が高まるため、組合員ならではの高度なサービスを提供するために立ち上げた「ハートtoハートネットワーク」(施設や自宅への訪問美容について組合として一定水準以上のサービス提供を目指すために立ち上げた制度)を拡大し、組合員の研鑽を図りつつ、非組合員への情報発信により新規加入者の拡大を目指す。



組合員証



ポスター



Point

「考え、そして行動する理事会」をモットーに、SNSを活用した役員等とのスピーディーな情報共有の徹底による意思統一と、全員参加型の組合運営を実現している。